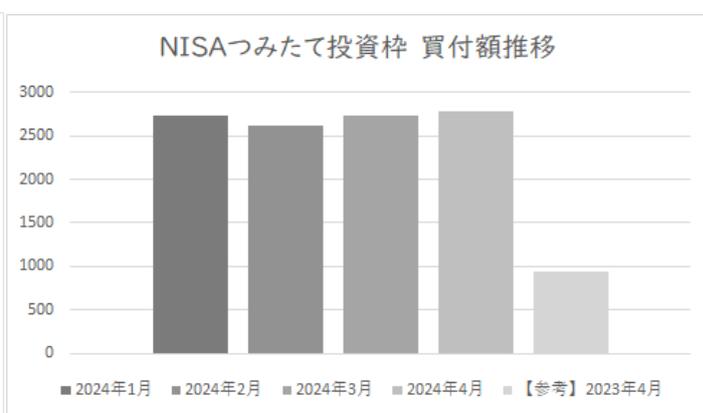


皆様のためのお役立ち情報を発信しています。保険や投資を学んでいきましょう！

	2024年						
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
口座開設件数	73万件	53万件	44万件	27万件	27万件	20万件	22万件

	【参考】2023年						
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
口座開設件数	1~3月累計 54万件 月平均 18万件			16万件	16万件	16万件	20万件



※日本証券業協会一部抜粋 (単位：億円)

## 今回のお話 「新 NISA 口座はどのくらい増えたのか？」

NISA の新制度がスタートした 2024 年 1 月から待ってましたとばかりに口座を開設した方が多かったのが分かります。日本証券業協会のまとめによると、証券会社 10 社（大手 5 社・ネット 5 社）の 2023 年 1 月～3 月の 1 ヶ月平均の口座開設件数が 18 万件なのに対し、2024 年 1 月は 73 万件と約 4 倍に増加しました。「NISA ってこれまでも少し興味はあったけど…」といった方が、新たな制度をきっかけに、投資での資産形成を始めたのだと考えられます。2 月以降も前年の同じ月を上回る件数の口座が開設されており、新 NISA の制度が歓迎されているように思います。

次に買付額、つまりどのくらいの金額が投資されたのかについて見てみます。

2024 年 1 月、成長投資枠の買付額が 16,765 億円と一気に増加しています。成長投資枠はまとまった資金を一気に買い付ける枠です。今回の新制度で、非課税保有期間が無制限化されたことや、生涯投資枠が拡大したことなどで、まとまった資金を非課税で長期に運用するため一刻も早く買い付けを行った方が多かったようですね。同じように 2 月の買い付け額も 12,819 億円と比較的多くなりましたが、3 月以降は 9,156 億円、4 月は 7,466 億円と少しずつ落ち着いてきました。

一方のつみたて投資。2024 年 1 月～4 月の買付額を見てみると毎月 2,700 億円程度と横ばいに推移しています。前年 4 月の買付額は 949 億円なので、こちらも約 3 倍に増加しています。

皆さんのまわりでも、「新 NISA 始めたよ！」という声聞きますか？「気になっているけどよく分からない…」という方や、「NISA はすでに始めているけどイマイチ分からない気がする…」という方、ぜひ一度ご相談ください。NISA 制度について分かりやすくご説明します！

## もうすぐ届きますよ！今年の控除証明書

暑い暑いと言っている間に8月が過ぎ、9月になりました。

10月になるとお手元に各保険会社から2024年の保険料控除証明書が届きます。

保険に加入していると、保険会社から様々な書類が届きますよね。定期的にご契約内容を確認していただくお手紙、更新が必要な保険は次の更新をお知らせするお手紙、外貨建て保険や変額保険などはその運用成果を伝えるお手紙など。中には、「新しい保険が発売になりました！」といったご案内もあるかもしれません。

このように、保険会社からくるお手紙やご案内に対して、「またか」と思って封もあけずに処分してしまう方はいらっしゃいませんか？医療保険の契約内容の確認や、自動車保険の更新などは私たち保険代理店で対応できますが、保険料の控除証明書は保険会社でないと再発行等の対応が出来ません。

そして控除証明書はご自身が確認して終わるものでもありません。勤務先に提出し年末調整を受ける方、ご自身や家族が確定申告をされる方、必要な時にすぐに出せるようにしておいてくださいね！



## 賃金のデジタル払い あり？なし？

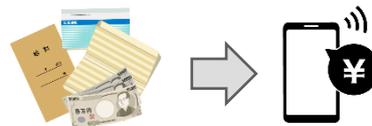
スマホでピッとかざせば支払いが済む「〇〇ペイ」、便利ですよ。皆さんの中にはお使いの方もいらっしゃると思います。その「〇〇ペイ」に直接お給料が支払われますよ、というのが2023年4月に解禁となった賃金のデジタル通貨払いです。

例えて言うなら、今持っているお財布に直接お金が入るようなもので、一見すると便利そうにも思います。

ただ、ご自身の賃金はすべて貯蓄に回している方や、生活口座に決まった額を入れて管理しているといった具合に、世帯によっては「なし派」の方もいらっしゃると思います。

もちろん、本人が希望しない限りはこれまで通り銀行口座などで賃金を受け取ることができますし、賃金の一部（例：5万円）を「〇〇ペイ」で、残りの賃金は銀行口座で受け取るといったことも可能になるんだとか。

とはいえこの制度、厚生労働省が、ようやくこの8月に賃金のデジタル払いに使う事業者として初めて「Pay Pay（ペイペイ）」の運営会社を指定したばかり。今後どれだけ広がりを見せるか、注目していきたいですね。



LINE 公式アカウントはこちら ↓

**（株）First LINE 公式アカウントがあります！**



（株）First では、お客様とのより良いコミュニケーションのため、LINE アカウントでの情報発信を行っております。  
友だち登録していただくと LINE で各種お問い合わせもできます！



総合保険代理店  
**株式会社First**